



啓明

スローガン「自分史上最高を目指せ！」

学校教育目標

積極的に真理の追求をする生徒
厳しく正しい生活をする生徒
強い身体と心を鍛える生徒

令和2年5月28・29日 第3号

「君たちがいて学校なんだ!!」

～学校再開に向けて～

苫小牧市立啓明中学校長 大橋 祐之

5月25日（月）、国による緊急事態宣言が解除されました。しかしながら、新型コロナウイルスの脅威が消え去ったわけではないことから、決して油断することなく、学校やご家庭それぞれができること、すべきことを徹底しなければなりません。

これからは、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から出された提言「新しい生活様式」の実践例や、文部科学省から示された「学校の新しい生活様式」を踏まえ、学校での教育活動を再開していきます。

5月25日・26日も、朝の風景は同じだった。

各学級とも半数の席が空いている。生徒たちは、黙々と朝読書に取り組んでいる。私自身、言葉では言い表せない感情が湧き出てくる。

大きな声で「おはよう!」と言いたところだが、ためらってしまった。何人かの生徒は「おはようございます」と、ちょっと頭を下げしてくれる生徒もいた。……目頭が熱くなった。

「君たちがいて学校なんだ!」と……。今できること・すべきこと、そして、明日できそうなことを考え、実践していきたい。

本校のキーワードである「自分史上最高!～昨日の自分より一歩前進～」をめざして!



↑分散登校（5月26日朝読書）

心に残ったメッセージ

“弱みを強みに変える”

ゴリラ研究の第一人者である京都大学学長「山極 壽一」氏は次のように述べています。

私が人類進化をずっと研究対象にしてきて、人類というのはこれまでずっと弱みを強みに変える戦略で生き延びてきたと理解しています。だから私は“弱みこそチャンス”と思います。これまで人間が弱みを見せた時に必ず乗り越える強みを発見してきたから、今回もそれが起こると信じています。

「コロナ禍かを生きる 京都大学学長・山極 壽一に聞く」（NHK「ニュースウオッチ9」～5月25日放送～）から

生徒たちの健康・衛生に対する意識の向上のためにご協力をお願いします

- 登校の際は次の**持ち物**を準備させてください（写真右）
 - ・マスク（着用）
 - ・清潔なハンカチ
 - ・ティッシュ
 - ・マスクを一時保管するための袋（給食時にはずすことから）
- 登校前に**健康状態**を確認してください
 - ・**体温を計測**する（熱がある場合は登校させない）
 - ・咳やのどの痛み等がないか確認する（風邪様症状がないか）
 - ※**健康観察シート**に日々の体調を**記録**してください
 - ※体調不良のときは登校させないでください
- 新しい生活様式について、ご家庭の中でも**話題**にしてください（裏面）



↑①の4点セット

来週以降の予定について

苫小牧市教育委員会からの通知のとおり、**6月1日（月）**から**教育活動を再開**します。時間割(6/1～6/5)については過日の分散登校で配付しておりますのでご確認ください。なお、感染予防の観点から、お子さんへの指導内容を変更することもあります。その際には随時連絡いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定